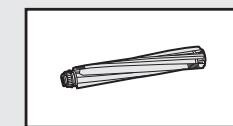


お手入れする 2

水洗いできるもの



警告



お手入れ時は必ず運転を停止し、ステーションは電源プラグを抜く【感電・けがの原因】

吸込口(ヘッド)・LEDライト・回転ブラシ

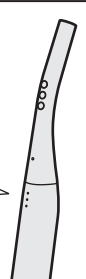
お手入れの目安

■吸込力が弱くなったり、汚れが気になるとき (月1回程度)

■ヘッドお手入れランプ(赤)が速く点滅したとき

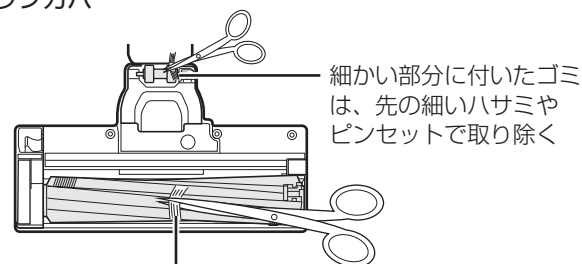
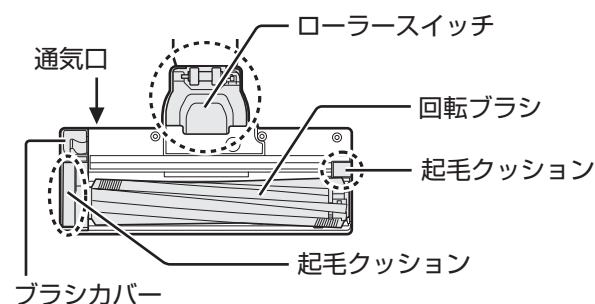
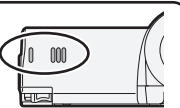
回転ブラシを取りはずしてゴミを取り除いてください。(右記参照)

ヘッド
お手入れ
➡ ● ⬅



吸込口に付いたほこりをすき間ノズルで吸い取り、
部にかみ付いた毛・糸くずを切り取ってから、
水を含ませて固く絞った布で拭く。

通気口に付いたほこりも
吸い取ってください。



細かい部分に付いたゴミは、先の細いハサミやピンセットで取り除く

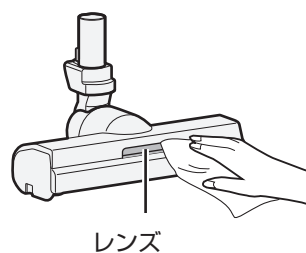
からまったゴミは、溝に沿って切り取る
(ブラシの毛先を切らない)

部が摩耗した場合は使用を中止し、
お買いあげの販売店にご相談ください。

LEDライトのお手入れ

乾いたやわらかい布で、
LEDライトのレンズに
付いた汚れを拭き取る。

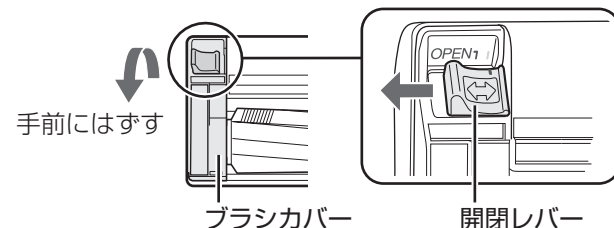
- 水拭きしないでください。
(内部に水分が入ると故障の原因)
- レンズを強く押さないでください。



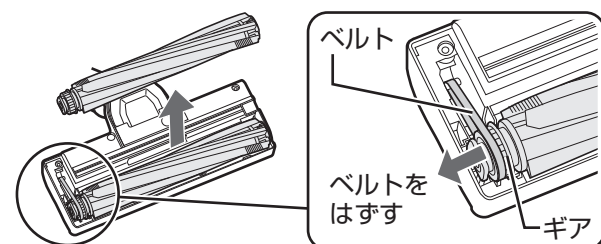
回転ブラシを取りはずしてゴミを取り除く

回転ブラシを取りはずす

- ① 開閉レバーを「OPEN」までスライドさせ
ブラシカバーをはずす

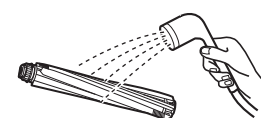


- ② 回転ブラシを持ち上げながらベルトをギアからはずす



- ③ 回転ブラシにかみ付いたゴミを取り除く

汚れがひどいときは回転ブラシを水洗いできます

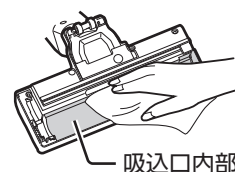


お願い

- 洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール類(除菌シートなども含む)やお湯(約40℃以上)は使わないでください。(変質や変形の原因)
- 水洗いした後は、水気をしっかり切り、風通しのよい所で陰干しして、十分に乾かしてください。
- ドライヤーなどの熱風を当てないでください。(変形や故障の原因)

吸込口全体は水洗いできません。

吸込口内部の汚れが気になるときは、水または薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭き取ってください。

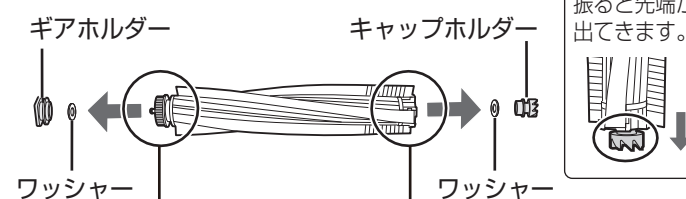


回転ブラシの「両端」にゴミがかみ付いたときは

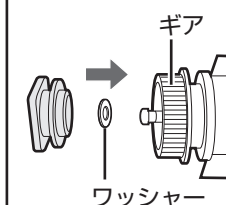
回転ブラシ両端のギアホルダー・キャップホルダー・ワッシャーをはずして、ゴミを取り除いてください。奥にゴミが詰まっていないか確認してください。

ギアホルダー・キャップホルダー・ワッシャーを紛失しないよう、ご注意ください

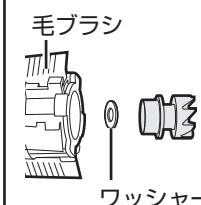
平行にまっすぐはずしてください。



ギアがある方に
ギアホルダー・
ワッシャーを
取り付け。



端まで毛ブラシがある方に
キャップホルダー・
ワッシャーを
取り付け。



図のように
差し込む。

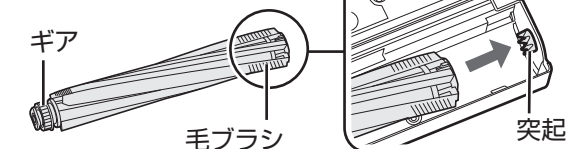
お願い

- お手入れ後は必ず、ギアホルダー・キャップホルダー・ワッシャーを取り付けてください。
- 回転ブラシが取り付けできない場合は、ギアホルダー・キャップホルダー・ワッシャーを正しく取り付けているか確認してください。

回転ブラシを取り付ける

- ① 端まで毛ブラシがある方を突起に差し込む

- 突起周辺に付いたほこりは取り除いてください。

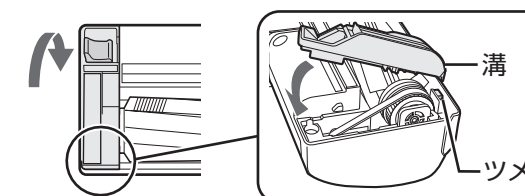


- ② 回転ブラシのギアにベルトをかけ、溝に入れる

- 左右を逆に入ると取り付けできません。

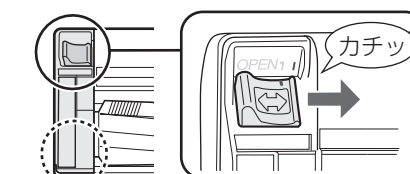


- ③ ブラシカバーの溝をツメにかけて取り付ける



- ④ 開閉レバーを矢印の方向にスライドさせる

しっかり閉まっていることを確認してください。



すき間が開いている場合はここを上から押し、はめ込む

側面からみて
すき間が開いていないことを
確認する

